

「自分でやってみよう ; MY FOREIGN LANGUAGE」 雑感

1. 英語との出会い

中学校 1 年生の J A C K & B E T T Y の 「 T h i s i s a p e n 」 からスタートしました。英語塾に行きたかったが、経済的に無理があり、学校の授業がすべてでした。今考えると、私の英語はすべて「T h i s i s a p e n」の英語だった様に思えてなりません

2. 高校時代

教科書を予習して行くのがやっとで、更なる進歩はない状態でした。大学受験勉強でした。それも我流でした

3. 大学時代

教養時代の 1 年半で、英語読本の教科が必修でありました。ドイツ語も文法、読本が同様に 1 年半ありました。これも必修でした。単位取得の勉強でした

4. 会社時代

入社して 10 年以上経って、海外事業の部署に異動になりました。担当がスペイン語圏であったので、仕事が終わった後週 1 回スペイン語会話を学びました。通勤電車の中でテキストを丸暗記し、時計、数字、目に触れるものをスペイン語に変換する訓練をしました。2 年半授業に出席しました。検定試験がなく、自由に勉強していました

5. スペイン語圏に 1 年間出張

初めての出張でした。単身のフライトでした。入国審査も労働ビザなので最後に回されて、時間がかかりました。入国審査時に少しは会話したのか、記憶にないです。1 年の内に業務できる程度の会話力を取得できていました。

6. 英語圏に家族帯同で 3 年半赴任

スペイン語で業務できるようになった途端に、英語圏に赴任する異動辞令をもらい、英語会話に挑戦することと相成りました。女性の方々との会話は待ったなしで、厳しいものでした。男性の方々は私の会話レベルに合わせてくれていたと思います。それ以降 10 年海外と付き合いました。通訳を使わずに、自分の納得する表現で、持っている V O C A B U L A R Y を駆使し、相手に対峙するのが会話だと思います。日本語で勝負できる環境にあることが一番望ましいと思われますが